

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(三協精密株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる面で、差別が発生しないよう経営トップが関与(定期的な社員面談等の実施による意見聴取、就業規則等への反映)					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・経営トップ、各部門長が定期的に社員面談を実施。 ・管理職を対象としたハラスメント研修を実施している				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8										16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・各人の残業時間を部門長が把握し、総務部門でも確認することで長時間労働を抑制している						8.5 8.8											
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・部門長は、外国人技能実習生労働者(中国人)への適切な待遇や労働環境の整備を行い、中国語と日本語が堪能な社員がサポートしている			4.4				8.7 8.8	10.2 10.3									
人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・5S改善活動の一環として、「安全・衛生」に関する問題を取り上げて活動している		3				8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスについての社内相談窓口と外部相談窓口の設置及び周知を行っている ・特定の社員に業務が集中しないよう多能化を推進している		3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・65歳以上の雇用については本人の希望と健康状態により雇用延長している			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3											
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じた各種研修の受講を奨励している ・業務上必要な資格の奨励し、費用は全額会社負担としている		4	5.5		8	9											
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・適性な人事評価制度の構築、運営による公正な待遇を実現している			5.5		8.5	10.2 10.3											
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・都道府県協会けんぽに「健康つくりチャレンジ宣言」をおこなっている ・2024年3月「健康経営優良法人認定」を受けている		3			8												
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・職場内におけるごみの分別基準(資源ゴミ、可燃ゴミ、プラゴミ、金属類など)を明確化し、5S活動で実施している。											11.6	12.4	14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電力使用量を毎月調査し、電力使用の削減に努めている					7.3							13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		【予定】	算定ツールなどを利用することにより現状を把握し、削減計画を策定していく				7.2 7.3								12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令等で規制されている有害化学物質を把握の上適切に管理し、削減のための計画を策定している(2023年～2025年)		3.9		6.3							11.6	12.4					

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 		
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している										6.6								15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・製造過程で発生した廃棄プラスチックを、粉碎処理して再利用を推進している ・海洋汚染につながるプラスチック製容器包装の使用を削減している														12.5	14.1				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・水道料金の毎月の把握と節水を社員に指導している							6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】		・2025年を目指してエコアクション21の取得を目指していく				3.9		6	7					12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】		・2025年を目指してエコアクション21の取得を目指していく												12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・工場への太陽光パネルの設置(一部)と利用でグリーン電力の利用に努めている								7.2					13						
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・廃棄物の削減目標を定め、不要な物の排出及び購入を防止している ・包装材の天然資源への切替を推進している												12.2	13	14	15				
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・企業行動規範を定めており、不正取引等行わないよう朝礼などを通じて繰り返し発信している																16	16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・企業行動規範を定めており、不正競争行為等の防止のための研修を実施している																16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・特許、実用新案、意匠、商標等の知的財産権を取得を推進する						8.2 8.3	9												
公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「個人情報保護方針を定めて公表し体制を整備している ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している																16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・お客様から要求があった場合は、材料メーカー等に対して調査を要請し報告する																16			
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認を行っている					5		8	10	12	13	14	15	16	17					
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】		・2026年を目指して「パートナーシップ構築宣言」を作成、公表する			3					8	9	10							17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定